

（様式第13号）

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	13-037	14-010	21-001			
			林 久善	金 志煥	栗田 佳典			
派遣先（名称）	NPO法人輪母ネットワーク							
派遣計画書の内容	初回ヒアリング		2024年9月5日	3回次 課題・問題点（活動について考える）				
	1回次 ビジョンの共有			4回次 方法・手段（組織ハードから）				
	2回次 ミッションあるべき姿を描く			5回次 方法・手段（ソフトから）				
派遣回次	1回次		派遣日時		2024年10月10日 13:30～15:30			
参加者	地域	4名	人材事務局	3名 2名	区役所 まちセン	名 名	その他 （	名 ）
活動内容	<p>●派遣依頼内容</p> <p>団体の組織運営などについて改めて総合的に見直し、運営計画をつくりたい。</p> <p>・法人格(認定NPOへの移行)、資金計画(寄付型団体をめざしての資金計画と会計処理の総合的な見直し)、事務スタッフ(将来的な雇用) など</p> <p>●支援内容・プログラム</p> <p>組織のありたい像を考えるため、ポストイットを使用して組織のありたい像について意見を出し合った。思いを引き出す問いを投げかけながら、深掘りをした。</p> <p>●成果</p> <p>居場所であるというキーワードが共通しているなど、ありたい像について議論を深めることができた。その他、提言をするような運動体ではないこと、生野区を拠点にした情報拠点であることなど団体の共通認識を確認できた。</p> <p>●今後の予定</p> <p>抽出したキーワードをもとに、相違点を協議しながら、そのありたい像に向けた道しるべとなるミッションについて検討をしていく。</p>							
所感	登録no.	名前	所感					
			ビジョンの共有のための人材派遣として、メンバーから自由に意見等を引き出すワークショップを実施した。メンバーで共有できる点と相違する点が明らかになった。相違する点は多様な価値観として許容の可否について対話を深める必要があると感じた。					
			居場所の位置付けはいろいろあっても、各人の思いがそこで体现される大切な場所であることを改めて感じた。この居場所を起点に、法人のビジョンが組織としてまとめられるかが今後の課題になると思います。公共人材として、各人の思いをビジョンに繋げる橋渡しができれば幸いです。					
			運動体ではないこと、セーフティーネットであるが、支援者ではなく、ピアの点を大切に、利用者に居場所と情報を提供する場所というありたい像の共通項は確認できました。あるべき姿に近づけるための手段については、様々なケースがあることを伝え、ミーティングを続けていきたいと思っています。					